

タギゾウくんと  
魔法の泉

まほうのいずみ



たぐ：養老町教育委員会 中島 和哉  
え：山本 彩乃



タギゾウくんはタギの<sup>くに</sup>国の<sup>おうさま</sup>王様です。

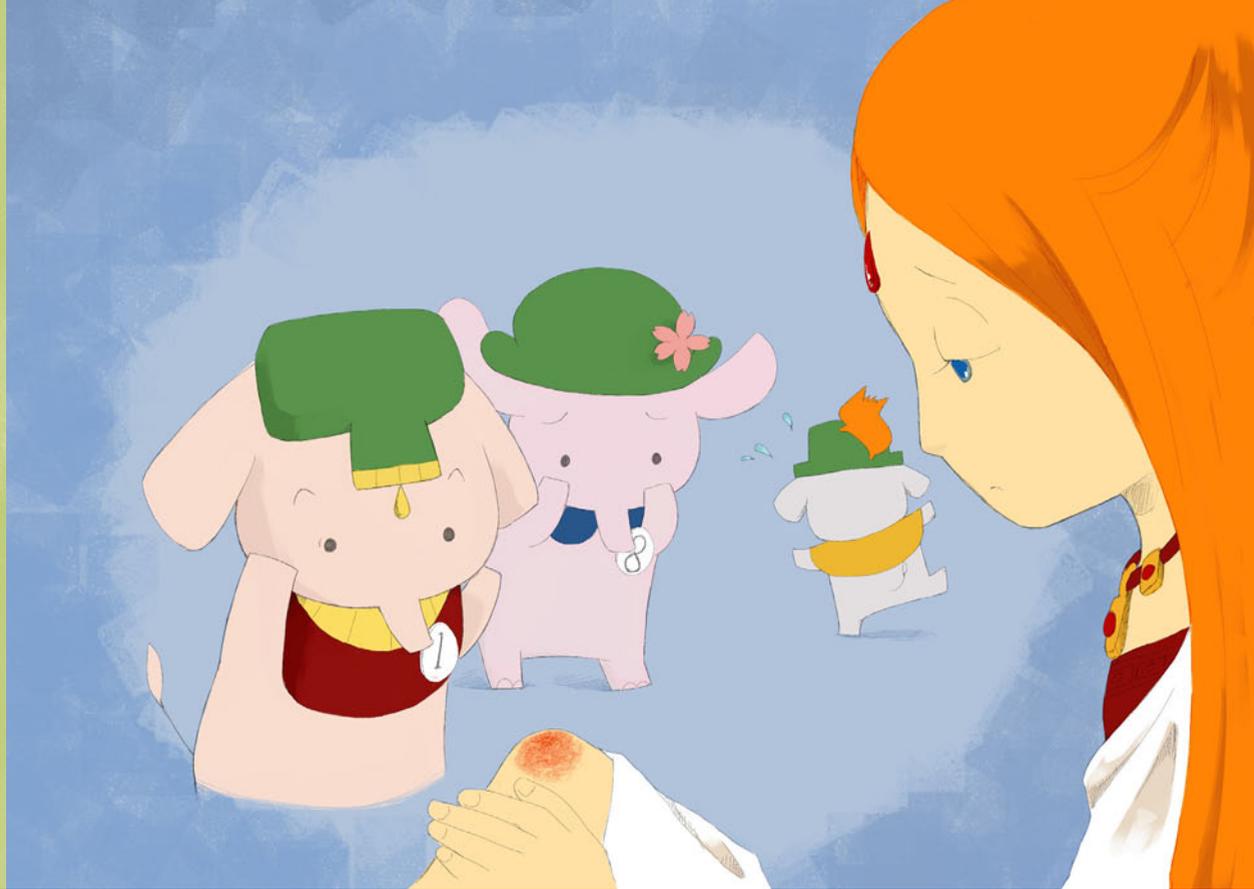
ある<sup>はる</sup>春の<sup>あさ</sup>朝、タギゾウくんは<sup>さくら</sup>桜を<sup>み</sup>見、<sup>べんとう</sup>お弁当をもつて<sup>ぞうびさん</sup>象鼻山にあがりました。



タギゾウくんが山頂に着くと、はっちゃんが大好きな踊りを、シローくんに教えています。

二人がとても楽しそうにしているので、タギゾウくんも踊ってみたいくなりました。

そして女神さまに、「ぼくたちも教えてもらいましょうよ」といいました。



でも、女神さまは元気がありません。

「どうしたんですか？」タギゾウくんが尋ねると、女神さまはそっと足のケガをみせてくれました。

「楽しそうだったので、わたしもやってみたのですが・・・」

女神さまは、踊りに挑戦して、転んでしまったのです。これは、いたそうだ・・・

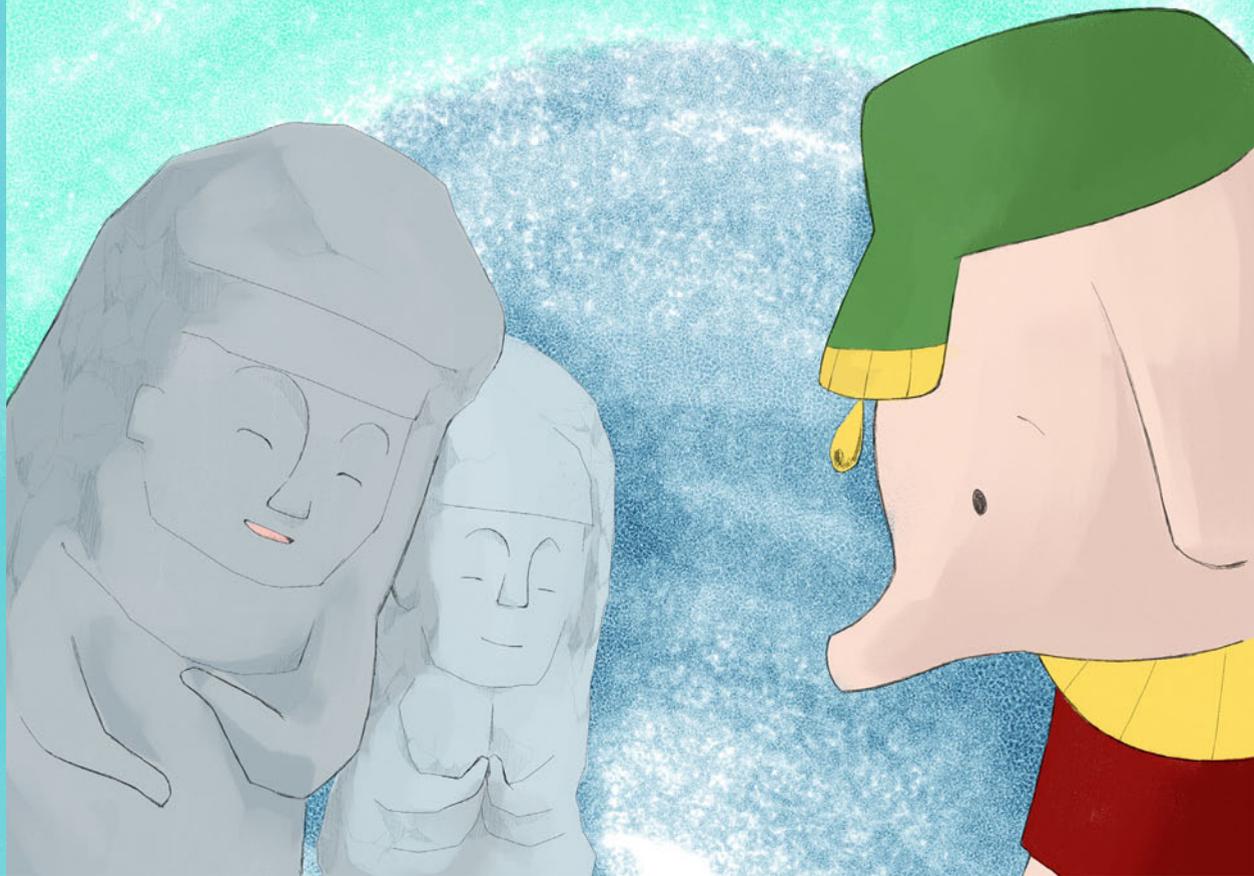


つぎ ひ、タギゾウくんは、さっそくどんなケガも治してしまう魔法の水を取りに行くことにしました。タギの国には、象鼻山の他に、養老山という山があり、そこにはどんなケガも治してしまう魔法の泉があるのです。ただ、タギゾウくんは、自分でその場所に行ったことがありませんでした。不安になったタギゾウくんは、はっちゃんについてきてもらうことにしました。



ところが、<sup>やま</sup>山はひろくて、<sup>まほう いずみ</sup>いったいどこに魔法の泉があるのかわかりません。

タギゾウくんたちが、<sup>やま なか ある</sup>どうしていいかわからずに山の中を歩いていると、<sup>こえ き</sup>どこからかたくさんの声が聞こえてきました。<sup>ふたり こえ</sup>二人が声のする方へいくと、<sup>ほとけ</sup>そこにはたくさんの仏さまがいました。



ほとけ いし たの  
仏さまは石でできていて、楽しそうにおしゃべりしています。

ちか まほう いずみ ばしょ おし たず いったい ほとけ  
「この近くにある魔法の泉の場所を教えてくださいませんか？」タギゾウくんが尋ねると、一体の仏さまが、

みち みなみ こうえん こうえん まほう いずみ おし  
「この道を南にあるいていくと公園がある。その公園に魔法の泉はあるよ。」と教えてくれました。



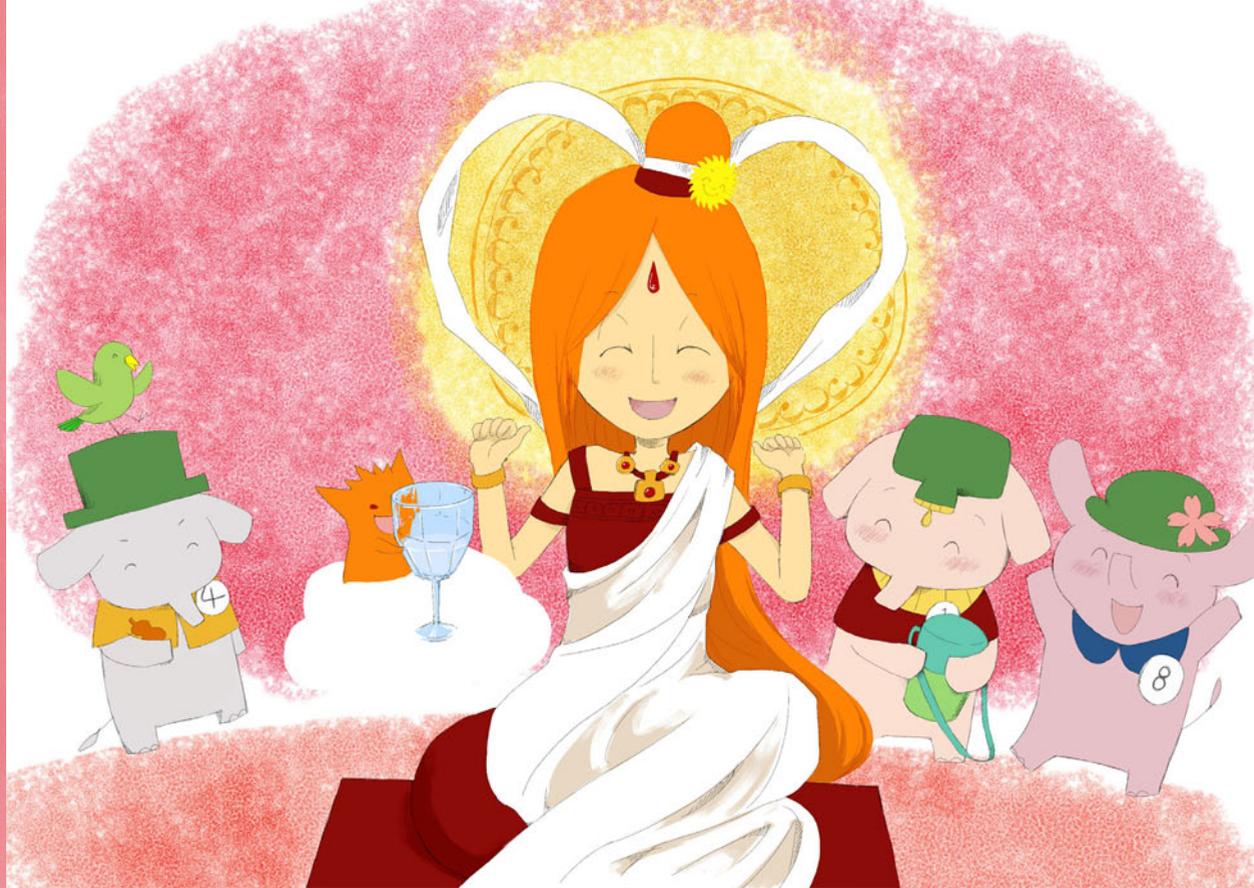
ふたり おし  
二人が教えられたとおりに道を進むと、とっても楽しそうな公園が見えてきました。そこには、遊園地やすべり台  
ほか  
の他に、プールやテニスコートもあり、おいしい焼きそばや、つめたいジュースを売るお店が並んでいます。  
みせ ひと まほう いずみ ばしょ おし  
タギゾウくんは、お店の人に魔法の泉の場所を教えてくださいました。  
すこ  
「はっちゃん、もう少しでつくよ。」タギゾウくんは、少し疲れてきたはっちゃんを励まし、魔法の泉に向かいました。  
はげ まほう いずみ む



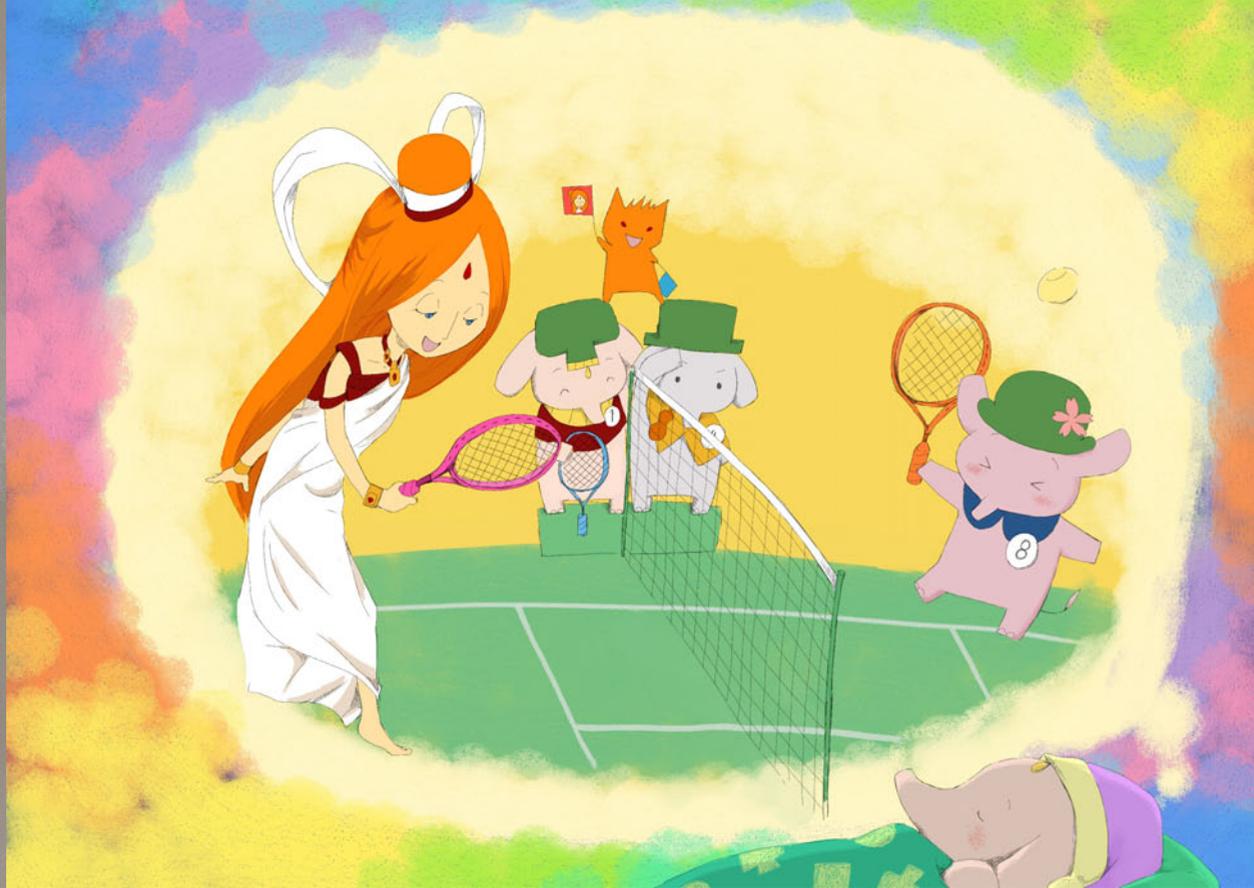
まほう いずみ じんじゃ そば じめん なか かがや みず わ  
魔法の泉は、神社のすぐ側にありました。地面の中からはキラキラ輝く水が湧いています。  
タギゾウくんとはっちゃんか、その水を飲んでみると、疲れた体が急に元気になりました。  
「これなら、きっと女神さまのケガもよくなるよ！」  
タギゾウくんは、さっそく魔法の水を水筒に汲みました。「さあ帰ろう、はっちゃん。」



しかし、はっちゃん<sup>へんじ</sup>は返事をしません。  
「どうしたの？」タギゾウくんが聞くと、はっちゃんは「少し<sup>すこ</sup>、遊んでいきたいな<sup>あそ</sup>」といました。  
はっちゃんもタギゾウくんも、こんなに<sup>たの</sup>楽しそうな<sup>こうえん</sup>公園にきたのは、はじめてだったのです。  
「そうだね。ちょっとだけ<sup>あそ</sup>遊んでいこう<sup>ふたり</sup>。」二人は、いっぱい<sup>あそ</sup>遊びました。



その後、象鼻山に戻った二人は、魔法の水の半分で女神さまのケガを洗い、もう半分をコップに注いで、女神さまに飲んでもらいました。すると、女神さまのケガはみるみるよくなり、からだげんきになりました。「ありがとう、タギゾウくん、はっちゃん。」女神さまはとてもうれしそうに、二人にお礼を言いました。



げんき<sup>めがみ</sup>  
元気になった女神さまをみてほっとしたタギゾウくんは、少し早く家に帰りました。  
たくさん歩いて、たくさん遊んだので、眠たくなってきていたのです。  
その夜、タギゾウくんは、みんなと一緒に公園で遊ぶ夢をみました。  
そして、次の朝すこしだけ、寝坊をしてしまいました。

# 保護者の皆様へ



## 解説 養老公園



養老町では、養老公園にまつわる親孝行のお話がよく知られています。この伝説は、続日本紀に記された養老改元のお話であり、本作はこれを参考に作成しました。ただ、続日本紀で「たぎくんとやまひせん当耆郡多度山の美泉」と称された場所の候補には「養老の滝」「菊水泉」の2つがあり、本作では菊水泉を採用しています。

養老公園は、養老の滝をはじめ、桜や紅葉が美しく、神社仏閣もあります。さらに岐阜県子どもの国や養老ランド、養老天命反転地といった子ども向けの施設もあるため、家族で1日過ごすのに最適です。

ぜひ、タギゾウくんとはっちゃんのように養老公園を訪れ、当耆郡多度山の美泉がどちらを指すのか、考えてみてください。



岐阜県養老町の歴史文化資源：<http://tagizou.com/>

電子書籍「養老美泉」：<http://tagizou.com/main/elibrary/?committee>

## 利用案内



施設名	開園時間	休園日
こどもの国	9:00～16:30	●毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)
養老天命 反転地	9:00～17:00 (最終受付 16:30)	●12/29～1/3 年末休み
養老ランド	9:00～17:00	●毎週火曜日 (夏・春休み期間は無休) 1～2月は土日祝のみ営業

## アクセス



車	名神高速道路 大垣インターより約 20 分 ※駐車場 (1 回) 普通車 300 円
電車	養老鉄道 養老駅から徒歩約 10 分

## MAP

詳しい地図は  
【[こちら](#)】  
(google map)





おしまい